Energia

報 道 資 料

平成15年11月13日
中国電力株式会社

島根原子力発電所における原子炉定格熱出力一定運転導入に伴う発電設備健全性評価書の妥当性確認の終了について

当社は，本日，経済産業省 原子力安全・保安院から，島根原子力発電所1，2号機における「定格熱出力一定運転実施に伴う発電設備の健全性評価書」について妥当性の確認が終了したとの通知を受けましたのでお知らせします。

当社は，島根原子力発電所における原子炉定格熱出力一定運転の導入に向け，経済産業省 原子力安全・保安院の通達「定格熱出力一定運転を実施する原子力発電設備に関する保安上の取扱いについて」に基づき，平成15年10月3日，島根原子力発電所1，2号機における「定格熱出力一定運転実施に伴う発電設備の健全性評価書」を経済産業省 原子力安全・保安院に提出し（同日発表済み），その内容の確認を受けていました。
今後，2号機については11月14日から，1号機については現在実施中の第24回定期検査の発電再開（12月中旬予定）から定格熱出力一定運転に移行する予定です。

現在，島根原子力発電所1，2号機では電気出力を一定に保つ運転（定格電気出力一定運転）を行っていますが，原子炉定格熱出力一定運転を導入することにより，現在の安全性を維持したまま発電設備の有効利用が図られます。
また，運転中に二酸化炭素を排出しない原子力による発電電力量が増加するため，島根原子力発電所1，2号機合わせて年間約7.5万t（石油火力による換算）の二酸化炭素を削減することができ，地球温暖化抑制に貢献できると考えています。

以上